

地域に視点をあてた事業展開 [高年]

“施設”ではなく“1軒の家”として地域との共生を目指す

地域住民に当施設のことをもっと知って身近に感じ、「1件の家」のように見ていただくことで施設と地域住民の結び付きを強くするべく、施設職員と地域住民が一緒になって各種の取り組みを行っている。緊急時の協力体制の構築等に役立つことが期待できる。

京都府

社会福祉法人

みねやま福祉会

〒627-0003 京都府京丹後市峰山町内記416

TEL：0772-62-8018 FAX：0772-62-8128

◇法人設立年

昭和27年

◇法人実施事業

①経営施設（事業）数：13施設29事業

②経営施設・事業の種類：

特別養護老人ホーム…2、訪問入浴介護…1、訪問介護…2、通所介護…2、短期入所生活介護…2、小規模多機能型居宅介護…2、認知症対応型共同生活介護…2、居宅介護支援…2、老人介護支援センター…1、障害福祉サービス事業…3、相談支援事業…1、地域活動支援センター…1、保育所…2、一時預かり（保育所型）…1、児童養護施設…1、乳児院…1、子育て短期支援事業…2、あんしん賃貸支援事業…1

◇法人の理念・経営方針

<理念>

- ・創設の理念を尊重し より質の高い福祉サービスの提供
- ・地域の人々の ころ豊かで安心・安全な暮らしへの貢献
- ・誇りと夢を持ち 福祉の仕事にまい進できるような職員の幸福追求

<サービスの質（品質方針）>

- ・私達はサービス提供のすべての場面で「管理より生活を」大切にします
- ・常に正しい情報の把握と提供に努め 自分が受けるサービス提供・改善に努めます

◇取り組みを実施している施設の概要

【施設名】

はごろも苑ないきの家

【施設種別及び利用定員】

小規模多機能型居宅介護 25名

◇活動内容

○活動開始年

平成19年4月

○活動の対象者

地域住民、近隣保育所の子どもたち、利用者

○活動の頻度・時間

随時、活動内容により30分～2時間程度

◇活動実施の背景、実施にいたった理由

地域密着型の施設を目指して小規模多機能型の施設を開設し、4年目を迎えた。地域に少しずつ溶け込んできたが、まだ、地域住民の中では“施設”というイメージが強いと感じる。そこで地域活動に利用者と一緒に参加し、当施設をより知ってもらう機会になればと考えた。地域との関わりを持つことで“施設”という特別なものとして見られるのではなく、地域にある“1軒の家”として考えてもらえればとの思いで取り組んでいる。

◇実施内容

①近隣サポート

家人急用時、当施設での短時間の見守りや通院時の移動介助のサポートをしている。

②納涼祭・地藏盆への参加

8月16日の納涼祭に利用者の方と一緒に参加し、23日の地藏盆には利用者の方と一緒に子供え物を持参しお参りをしている。

③地域の清掃活動

神社境内の清掃や、地域のクリーン活動に近隣の小学生とともに、利用者と職員も参加している。

④近隣保育所児童との交流

地区公民館にて行われている保育所児童との交流会に参加している。

⑤地域の防犯活動への参加

車両に防犯パトロールのステッカーを貼布し、送迎時・訪問時に町内パトロールを実施している。

⑥ボランティア事業の窓口

市社協が主催するボランティア事業の受け入れ実施登録および、活動受け入れの調整を担っている。

⑦防災訓練への参加

年に1回、京丹後市全体で実施されている防災訓練に利用者と一緒に参加している。

⑧ボランティア来所時の呼びかけ

演奏会等、ボランティアの方が来所される日には、気軽に見に来てもらえるよう地域住民にも声をかけている。

◇活動効果（利用者や職員、地域などの反応、影響）

職員と利用者が地域の行事等に参加することにより、近隣小学校の先生が当施設のことを知ってくださり、今後低学年の児童との交流の機会を設けようとの提案をいただいた。地域の子どもたちが休みの日には自然と遊びに来てくれるようになり、独自でゲームも考えて披露してくれる機会が増えた。地域住民の間で「職員さんの駐車場が狭くて大変だね。使っていない土地を使ってもらったら？」との話が上がったと聞いた。このように当施設についての話題が出るだけでなく、考えてくださるようになったことが何よりの変化だと思う。

先日、月に1回の施設内での避難訓練では、近隣住民の協力を得て、一緒に訓練に参加していただいた。高齢者が多いこの施設で実際に火災が起きた場合、近隣住民の協力は不可欠になってくる。今回のように実際に協力を得られたことは、今後の大きな一歩になったと思う。

◇今後の展開

今はまだ、地域からの呼びかけがあって参加することが多いが、今後は当施設だからできることを話し合い、自主的に行う取り組みを提案し、当施設に足を運んでいただけるようなイベントの開催も考えていきたい。また、来年の地区納涼祭にはスタッフとしても参加し、地域に還元していきたいと思っている。

閉ざされた施設ではなく、開かれた“家”として、今後も地域と一緒にあって利用者をサポートしていきたい。

◇主な経費や財源及び人員等

※年間あたり

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
地藏盆お供え代	2,000円	施設負担額	2,000円
<合計>	2,000円	<合計>	2,000円

- ・取り組みにかかわった職員数 14名
(職種等：介護士、看護師)

